



平成25年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年6月12日

上場会社名 株式会社三井ハイテック 上場取引所 東・福
 コード番号 6966 URL <http://www.mitsui-high-tec.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三井 康誠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 白川 裕之 TEL 093 (614) 1111
 四半期報告書提出予定日 平成24年6月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第1四半期の連結業績（平成24年2月1日～平成24年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第1四半期	13,884	10.6	510	734.8	817	449.8	742	—
24年1月期第1四半期	12,554	0.8	61	—	148	162.4	△35	—

(注) 包括利益 25年1月期第1四半期 1,537百万円 (558.9%) 24年1月期第1四半期 233百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年1月期第1四半期	17.49	—
24年1月期第1四半期	△0.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第1四半期	49,290	79.5	39,245	79.5		
24年1月期	46,837	80.4	37,709	80.4		

(参考) 自己資本 25年1月期第1四半期 39,173百万円 24年1月期 37,640百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年1月期	—	—	—	—	—
25年1月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年1月期の連結業績予想（平成24年2月1日～平成25年1月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	27,000	6.5	300	205.0	300	337.2	150	—	3.53
通期	56,000	10.2	700	—	700	720.9	400	—	9.42

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年1月期1Q	42,466,865株	24年1月期	42,466,865株
② 期末自己株式数	25年1月期1Q	5,450株	24年1月期	5,180株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年1月期1Q	42,461,554株	24年1月期1Q	42,462,222株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、さまざまな要素により異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 追加情報	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響から持ち直しの動きが続いており、サプライチェーンの回復が進み、景気は緩やかな上昇基調にありましたが、今後の先行きについては、円高、株安の進行及び欧州の財政危機などを背景に国内外とも景気の下振れ懸念が存在し、依然として不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループは、省資源・省エネルギーに貢献する製品・部品の供給拡大及び自動車関連市場の増産対応に取り組むとともに、全グループを挙げて生産効率向上に取り組みました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は138億8千4百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益は5億1千万円（前年同期比734.8%増）、経常利益は8億1千7百万円（前年同期比449.8%増）、四半期純利益は7億4千2百万円（前年同期四半期純損失3千5百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（金型）

金型事業については、省資源・省エネ化などをはじめとした市場の要求に対応した超精密加工技術の追求によりお客様のニーズに対応しました。また、新興国を中心にグローバルな新規顧客の開拓を継続しましたが、需要先の設備投資抑制などにより、売上高は16億1千3百万円（前年同期比6.7%減）、営業利益は1億6千万円（前年同期比32.3%減）となりました。

（電子部品）

電子部品事業については、国内生産拠点では、環境対応製品などの新製品の受注確保に取り組み、海外生産拠点では現地生産化に取り組みました。また、各生産拠点での生産効率の向上、歩留り向上を図り原価低減に取り組みました。その結果、半導体の需要減の影響を最少限に抑え、売上高は76億4千8百万円（前年同期比6.7%減）、営業利益は2億1千4百万円（前年同期営業損失4千万円）となりました。

（電機部品）

電機部品事業については、車載用のモーターコアにおいて、震災の影響で落ち込んでいた自動車業界の生産挽回に対応しました。その結果、売上高は50億2千1百万円（前年同期比66.7%増）、営業利益は5億7百万円（前年同期比142.8%増）となりました。

（工作機械）

工作機械事業については、国内、中国及び北米市場での顧客開拓と材料の廉価購買及び工数の低減に取り組みましたが、景気低迷による製造業での設備投資抑制が継続し受注減となりました。その結果、売上高は2億2千1百万円（前年同期比18.2%減）、営業損失は2千万円（前年同期営業損失1千万円）となりました。

なお、上記セグメント売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高6億1千9百万円を含めて表示しております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用）

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成21年12月4日 企業会計基準第24号）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成21年12月4日 企業会計基準適用指針第24号）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループでは平成21年1月期から3期連続の営業損失を計上し、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しておりました。前連結会計年度においては、若干の営業利益を確保したものの、災害による損失の計上や減損処理の実施により当期純損失を計上したことから解消に至っておりませんが、次のとおり、当該事象又は状況を解消するために対応策をとっており、また、事業運営を進めるための十分な運転資金を有しているため、この状況は解消できるものと判断しております。

当社グループを取り巻く事業環境は、新興国市場の台頭による低価格品への需要シフト、円高基調の継続、及び環境対応ニーズの加速などにより大きく変化すると予想されます。事業環境の変化に対応するために、さらに意思決定のスピードを上げるべく、各事業の統轄責任者の若返りを図りました。また、全体最適を目指し経営資源を配分し、もっとも効率的な収益拡大のために各事業や各ロケーションの特徴・機能を含め相乗効果が発揮できるように取り組んでおります。その結果、前連結会計年度の営業利益の黒字化に引続き、当第1四半期連結累計期間においても、5億1千万円の営業利益を計上することができました。

当社グループは当該事象又は状況を解消するために、今後とも精密加工技術を核として、グローバル供給体制を活かし顧客ニーズに対応するとともに、事業再編と生産効率向上の取り組みを加速し、収益の改善を図って参ります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,058	9,737
受取手形及び売掛金	7,605	8,338
有価証券	1,700	1,900
商品及び製品	1,585	1,775
仕掛品	1,022	1,216
原材料及び貯蔵品	1,255	1,386
その他	898	906
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	23,119	25,254
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,254	26,467
減価償却累計額	△19,365	△19,567
建物及び構築物（純額）	6,888	6,899
機械装置及び運搬具	41,368	41,112
減価償却累計額	△35,281	△35,060
機械装置及び運搬具（純額）	6,087	6,051
工具、器具及び備品	18,043	18,119
減価償却累計額	△16,473	△16,429
工具、器具及び備品（純額）	1,569	1,690
土地	6,602	6,619
建設仮勘定	644	843
有形固定資産合計	21,792	22,104
無形固定資産	623	583
投資その他の資産		
投資有価証券	578	608
繰延税金資産	23	24
その他	700	715
投資その他の資産合計	1,301	1,348
固定資産合計	23,718	24,036
資産合計	46,837	49,290

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,768	3,149
1年内返済予定の長期借入金	1,250	1,250
未払法人税等	180	52
その他	1,990	2,972
流動負債合計	6,189	7,423
固定負債		
長期借入金	1,875	1,562
退職給付引当金	960	949
役員退職慰労引当金	85	77
その他	17	32
固定負債合計	2,938	2,621
負債合計	9,127	10,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,403	16,403
資本剰余金	17,366	17,366
利益剰余金	8,755	9,497
自己株式	△3	△3
株主資本合計	42,521	43,264
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64	83
為替換算調整勘定	△4,945	△4,174
その他の包括利益累計額合計	△4,881	△4,090
少数株主持分	69	71
純資産合計	37,709	39,245
負債純資産合計	46,837	49,290

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年4月30日)
売上高	12,554	13,884
売上原価	11,071	11,872
売上総利益	1,483	2,011
販売費及び一般管理費	1,422	1,501
営業利益	61	510
営業外収益		
受取利息	16	24
為替差益	74	226
その他	42	82
営業外収益合計	133	333
営業外費用		
支払利息	8	6
固定資産除売却損	31	8
その他	6	10
営業外費用合計	46	26
経常利益	148	817
特別損失		
災害による損失	107	—
特別損失合計	107	—
税金等調整前四半期純利益	40	817
法人税等	71	70
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△30	747
少数株主利益	4	4
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△35	742

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△30	747
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	19
為替換算調整勘定	280	771
その他の包括利益合計	264	790
四半期包括利益	233	1,537
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	228	1,533
少数株主に係る四半期包括利益	4	4

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年2月1日 至 平成23年4月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	金型	電子部品	電機部品	工作機械	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	1,150	8,182	3,011	209	12,554	—	12,554
セグメント間の内部売上高 又は振替高	578	18	—	61	658	(658)	—
計	1,729	8,200	3,011	271	13,213	(658)	12,554
セグメント利益又は損失(△)	237	△40	208	△10	395	(334)	61

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額334百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年2月1日 至 平成24年4月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	金型	電子部品	電機部品	工作機械	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	1,010	7,648	5,021	205	13,884	—	13,884
セグメント間の内部売上高 又は振替高	603	—	—	16	619	(619)	—
計	1,613	7,648	5,021	221	14,503	(619)	13,884
セグメント利益又は損失(△)	160	214	507	△20	862	(352)	510

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額352百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当第1四半期連結会計期間(自平成24年2月1日至平成24年4月30日)

資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分

当社は、平成24年4月24日開催の定時株主総会において、次のとおり、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分を行うことを決議し、平成24年5月29日付けで効力が発生しております。

1. 資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分の目的

今後の柔軟かつ機動的な資本政策の展開を可能とするため、繰越利益剰余金の欠損填補を目的として、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分を行うものです。

2. 資本準備金及び利益準備金の額の減少

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金の一部及び利益準備金の全額を減少し、それぞれその他資本剰余金及び繰越利益剰余金に振替えました。

(1) 減少する準備金の項目及びその額

資本準備金 17,366百万円のうち、3,000百万円

利益準備金 692百万円の全額

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 3,000百万円

繰越利益剰余金 692百万円

3. 剰余金の処分

会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金の一部を減少し、繰越利益剰余金に振替えました。

(1) 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 113百万円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金 113百万円